

サティス洗面器



メーカー管理用です。

●安全上のご注意

- 施工前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しく施工してください。
- ここに示した注意事項は、状況によって重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも、安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。
- 施工完了後、取扱説明書にそってお客様に使用方法、お手入れの仕方を説明してください。
- この施工説明書は、取扱説明書と共にお客様まで保管いただくように依頼してください。

用語および記号の説明

警告	「取り扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負う危険な状態が生じることが想定されます。」
注意	「取り扱いを誤った場合に、使用者が軽傷を負うか又は物的損害のみが発生する危険な状態が生じることが想定されます。」
△	「注意しない！」（上記の「注意」と併用して注意をうながす記号です。必ずお読みになり、記載事項をお守りください。）
! 分解禁止	「分解してはいけません！」
! 指示実行	「指示通りにしない！」（一般的な行動指示記号です。）
! 禁止	「してはいけません！」（一般的な禁止記号です。）

⚠ 警告

! 指示実行	洗面器の固定は確実に行ってください。 ※落下・転倒などによってケガをする恐れがあります。
---------------	---

⚠ 注意

! 分解禁止	修理技術者以外の人は、絶対に分解したり修理・改造は行わないでください。 ※破損しケガをすることがあります。
---------------	--

	水道水以外に接続しないでください。 ※内部の腐食により破損や漏れ、故障の原因となります。
--	---

	陶器に対するねじは締めすぎないようにしてください。 ※陶器が割れてケガをする恐れがあります。
--	---

	湯水を逆に配管しないでください。 ※水を出そうとしても、湯が出てヤケドをする恐れがあります。
--	---

	衝撃を与えたる、もたれかかったりしないでください。 ※破損してケガをしたり、漏水や故障の原因となります。
--	---

	陶器に熱湯を注がないでください。 ※陶器が破損してケガをしたり、水漏れのため家財等を濡らす財産損害発生の恐れがあります。
--	---

	陶器に硬いものを落とさないでください。 ※陶器が破損してケガをしたり、水漏れのため家財等を濡らす財産損害発生の恐れがあります。
--	--

	陶器にひびが入ったり、割れた場合、破損部には素手で触らないでください。 ※破損部でケガをする恐れがあります。
--	---

	陶器にひびが入ったままで使用しないでください。 ※陶器が割れてケガをする恐れがあります。
--	---

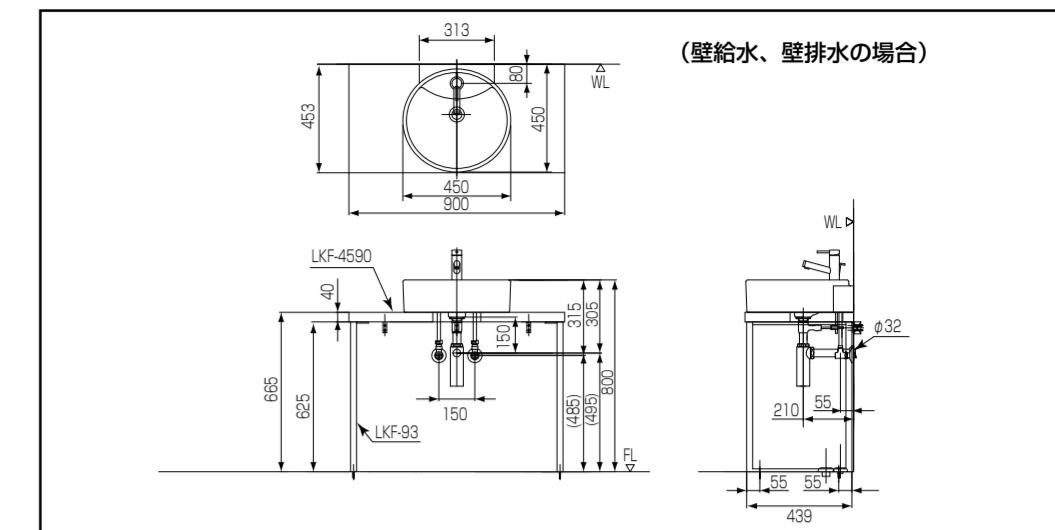
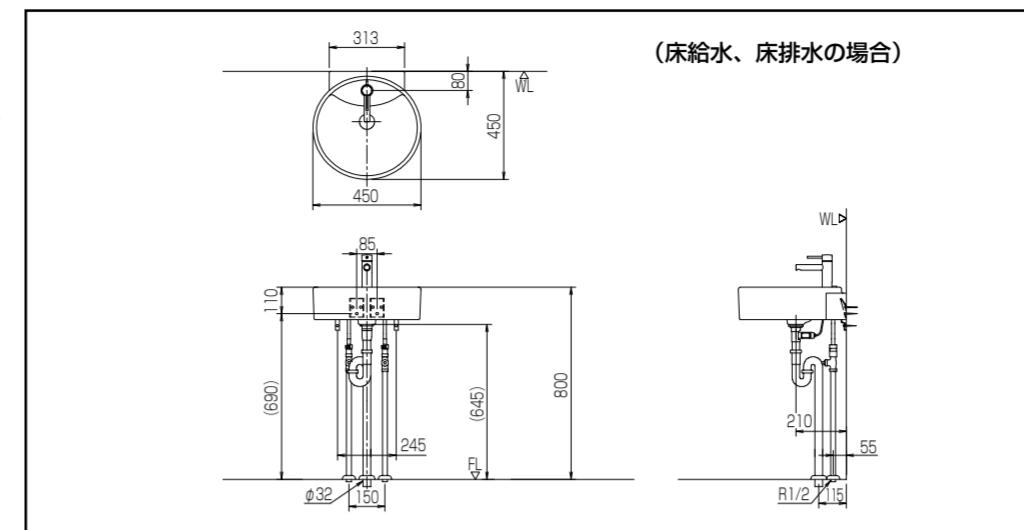
	汚れがついた手で手洗器の鉢面を触らないでください。 ※防汚効果が低下し汚れがつきやすくなります。
--	---

	排水栓が上がっている状態で、排水栓に衝撃を与えたる、無理に引っ張ったり、押し込んだりしないでください。 ※部品が破損して、排水栓が上下できなくなる恐れがあります。
--	--

	水栓側のワイヤーを無理に折ったりしないでください。 最小曲げR (R>40) を確保してください。 ※ワイヤーが折れて、排水栓が上下できなくなる恐れがあります。
--	--

●商品の機能が100%発揮されるよう、本説明書の内容を十分ご理解のうえ正しく施工してください。なお施工完了後、この施工説明書をお客さまにお渡しください。

●施工完了図



●梱包内訳

●カウンターは別売りです。カウンターに設置する場合は、品番末尾に「V」が付くタイプを手配してください。

セット品番 ※寒冷地用	シングルレバー混合水栓仕様【C】: 排水口カバー付】					シングルレバー単水栓仕様【C】: 排水口カバー付】					
	YL-A543SYEA(C) YL-A543SYEA	YL-A543SYEB(C) YL-A543SYEB	YL-A543SYEC(C) YL-A543SYEC	YL-A543SYEG(C) YL-A543SYEP(C)	YL-A543SYEQ(C) YL-A543TA	YL-A543TB(C) ※YL-A543TNAC(C)	YL-A543TC(C) ※YL-A543TNBC(C)	YL-A543TD(C) ※YL-A543TNA	YL-A543TNB(C) ※YL-A543TNC	YL-A543TG(C) ※YL-A543TNG(C)	YL-A543TP(C) ※YL-A543TNP(C)
洗面器・水栓											
固定金具											
排水金具	 										
止水栓	 										

●施工前のご注意

- 開梱、取付けの際には商品の表面にキズを付けないように注意してください。
- 商品を取り付ける前に必ず配管中の異物を完全に洗い流し、空気を完全に抜いてください。
- 同梱の部品以外は使用しないでください。
- 給水圧力は仕様表をご確認ください。
給水圧力が0.75MPaを超える場合は、市販の減圧弁などで適正圧力(0.20MPa程度)に減圧してください。
- 梱包前に通水検査をしていますので商品内に水が残っている可能性がありますが、商品には問題ありません。
- 給水配管が右側、給湯配管が左側に配管されていることを確認してください。
※逆配管では表示通りに湯がでません。
- 給湯配管はできるだけ短くし、必ず保湿剤を巻いてください。
- シングルレバー混合水栓の取付けには別売の専用工具KG-23(対辺13)が必要です。
- シングルレバー単水栓の取付けには別売の専用工具(KG-1もしくは、KG-2)が必要です。
- 排水口金具の取付けにはシール材(市販品)が必要です。

●本製品の仕様と条件

仕様	仕様	
	シングルレバー混合水栓	単水栓
使用圧力範囲	0.05 (流動時)~0.75MPa (静止時)	
使用可能水質	水道水および飲用可能な井戸水(※1)	
給湯温度設定	80±5°C以下	
使用環境温度範囲	【一般地・寒冷地共用】 -20°C~+40°C ※但し、内部の水を凍結させないでください。	【一般地用】0~40°C(※2) 【寒冷地用】-20°C~+40°C
給水接続(給湯接続)	R1/2	
排水接続	呼び径32mm	

※1 飲用可能な井戸水とは、水道法に定められた飲料水の水質基準に適合する水をいう。

※2 破損する恐れがありますので、凍結する可能性のある場所では使用しないでください。

■上記の各数値は一定の条件下によるもので、使用環境条件等により異なる場合があります。

(2) 補強木の位置について

取り付けには、背面壁に補強が必要です。

【木造壁の場合】

取り付け部厚さ30mm以上になるように補強木を設けてください。

※補強木は構造体との固定を行ってください。

【コンクリート壁の場合】

取り付け部の奥行きは75mm以上(コンクリート厚40mm以上)を確保してください。

※AYボルト(AY24(1P):2本、AY34(1P):6本)は別途用意ください。

※セット総重量は20kg以上あります。

●施工方法

1. 給排水位置の取り決め

(2) 洗面器のボルトをキャビネット内部からワッシャー大、ワッシャー小、ナットで固定します。

注意
陶器に対するねじは締めすぎないようにしてください。
※陶器が割れる恐れがあります。

[パックハンガーの場合]

(1) 右記の壁面の所定位置に左右のパックハンガーが各々傾きのないよう、また、左右の高さが同一水平面にそろいう正しく取り付けてください。

(2) 洗面器をパックハンガーに仮取付けし、洗面器を押え、左右の傾きやガタつきを確かめます。この場合もし傾きやガタつきのある場合は、金属片の小片をさがっている方またはガタつく方のパックハンガーの上面(図a)に折り曲げて当て、また陶器全体を上げたいときは、パックハンガーの下部(図b)に、下げたいときは上部(図c)に金属片をはさんで調節してください。

3. 水栓金具の取付け

[シングルレバー混合水栓の場合]

水栓に同梱されている施工説明書をご参照ください。

[シングルレバー単水栓の場合]

(1) 水栓本体の取付脚部に付いている部品をすべて外し、本体を取付穴に挿入します。

注意
施工中本体を倒さないでください。
※陶器などを破損してケガをする恐れがあります。

(2) 吐水口の向きに注意し、専用工具で三角パッキン平座金、締付ナットをしっかりと締め付けます。

注意
●本体下パッキンがずれないように注意してください。
※漏水する恐れがあります。
●工具は別売りの専用工具(KG-1もしくは、KG-2)を使用してしっかりと締め付けてください。
※漏水する恐れがあります。

●三角パッキンと平座金は取付穴裏面に当たるまで挿入してから、締付ナットをしっかりと締め付けます。
※締付け後、本体に浮き、グラつきがないこと。

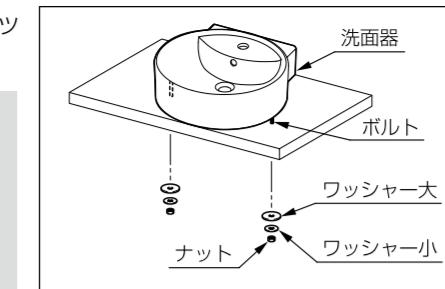
4. 排水口金具の取付け

(1) 右図のようにねじ山にシールし、上部にスponジパッキン、下部に三角パッキンをはめて締め付けてください。
※シールをしないとねじ山をつたつて漏水する恐れがあります。
※締め過ぎにならないよう注意してください、排水金具が変形し漏水の原因になります。

[ウェスト棒式の場合]

(2) 排水栓(排水口カバー付)が「閉」状態のときにキック棒が水平に差し込まれるまで、キックボックスをねじ込み、ロックナットでキックボックスをしっかりと固定してください。
※着脱排水栓(排水口カバー付)の場合は、上から排水口に差し込みます。

(3) キック棒の袋ナットを漏水しない程度に締め付けてください。この際、締め過ぎにならないよう注意してください。
※キック棒の動きが重くなります。



5. 排水管の取付け

[ボトルトラップの場合]

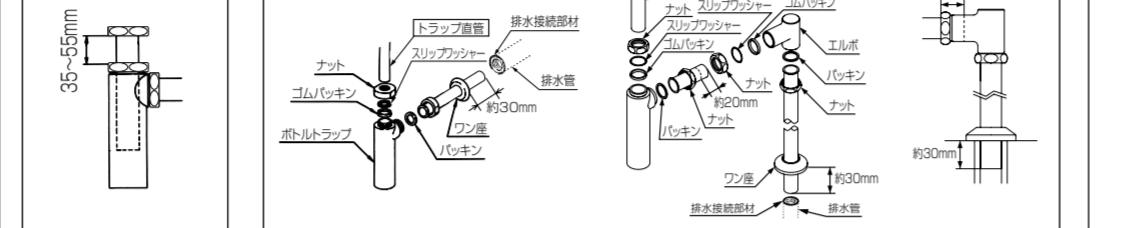
ボトルトラップ排水管を仮組みし、建築側排水立上げ管への差込しき(約30mm)を残して排水管を切断します。
※トラップ直管は、絶対に切らないでください。

※下図の寸法(ボトルトラップ封水深)が35~65mmになっていることを必ず確認してください。
※床排水の場合、エルボーとの差込しきは約20mm確保してください。

※塩ビ管: 排水接続部材は市販のゴムジョイント等(現場手配)を使って接続してください。
※鉛管: ハンダで溶接してください。

[封水深の確認]

[取付け]



[Pトラップ、Sトラップの場合]

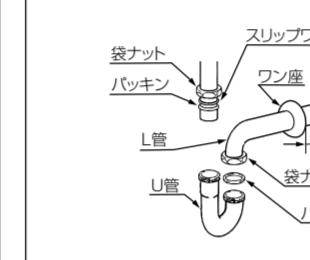
排水トラップを仮付けして、L管またはS管を排水管との差込しきを約30mm残して切断してください。

※トラップは施工完了図のように、右向きになるようにしてください。

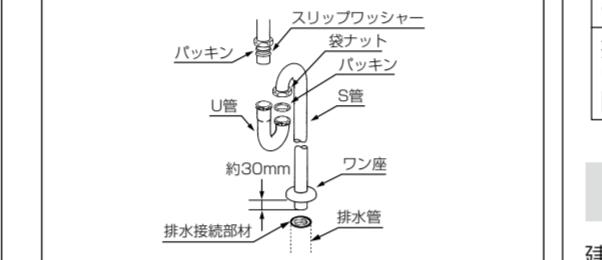
※塩ビ管: 排水接続部材は市販のゴムジョイント等(現場手配)を使って接続してください。

※鉛管: ハンダで溶接してください。

[Pトラップの場合]



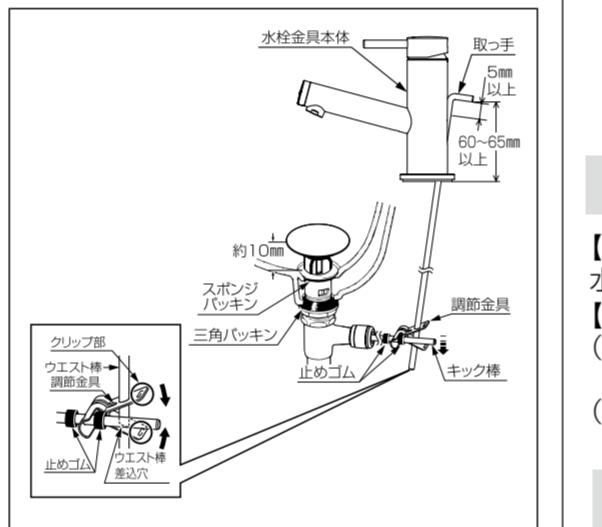
[Sトラップの場合]



6-1. [ウェスト棒式の場合] ウエスト棒の取付けおよび調節

(1) キック棒に止めゴムと調節金具、ガイドを図のように組付けます。
※下段の「クリップ部取付手順詳細」を参照ください。

(2) ウエスト棒を水栓金具に通し、調節金具のクリップ部をつかみながらウエスト棒差込穴に通します。



6-2. [ワイヤー式の場合] 排水栓とワイヤー部の接続

●「排水栓が上がっていること」と「水栓側の取っ手が下がっていること」を確認してください。

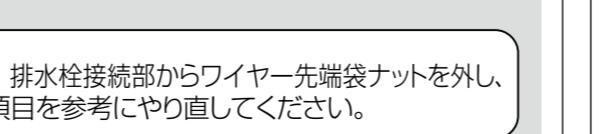
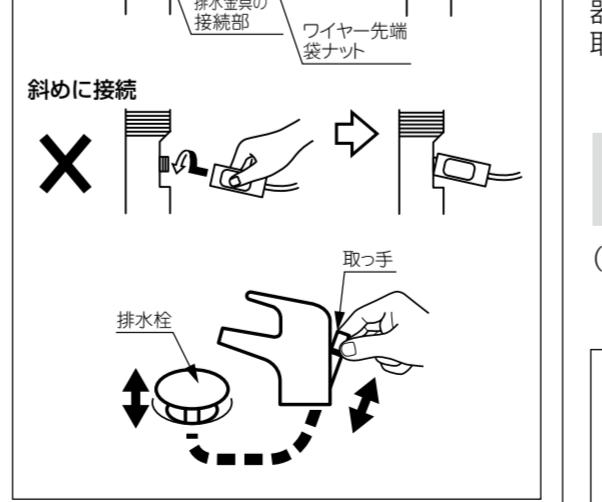
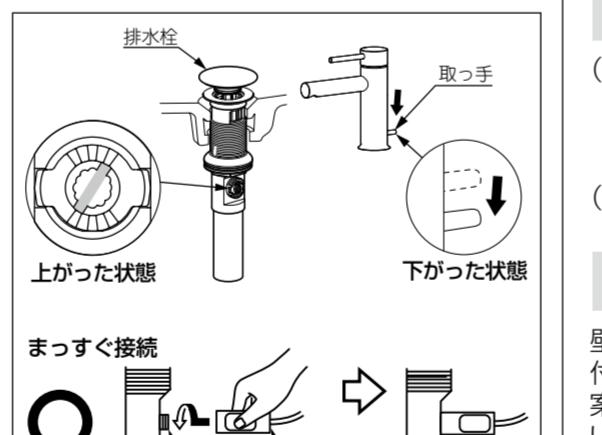
注意
正確に取付けないと排水栓が上下動作できません。

(1) 排水金具の接続部を横から覗き込み、排水金具の接続部に水栓側のワイヤー先端袋ナットを真っすぐ挿して、手で回らなくなるまで締め付けてください。(目安2回転)

注意
ワイヤー先端の袋ナットに工具をかけないでください。
※破損する恐れがあります。
ワイヤーを取付ける際に無理に折つたりしないでください。
最小曲げR(R>40)を確保してください。
※ワイヤーが折れて、排水栓が上下できなくなる恐れがあります。

(2) 袋ナット締付け後に水栓側の取っ手を動かして排水栓が上下することを確認してください。

注意
取っ手が動かす排水栓が上下しない場合は、排水栓接続部からワイヤー先端袋ナットを外し、
(3) ポップアップ排水栓の動作確認の項目を参考にやり直してください。



(3) ポップアップ排水栓の動作確認
排水するための十分な隙間があるか確認してください。

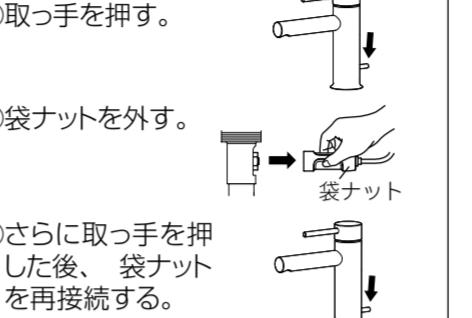
隙間の目安
取っ手を押し、排水栓を上がった状態で同梱の隙間確認用のスペーサーの細い側が押しこめることを確認してください。



次の現象の場合は、以下の手順でワイヤー先端袋ナットを取り付け直してください。

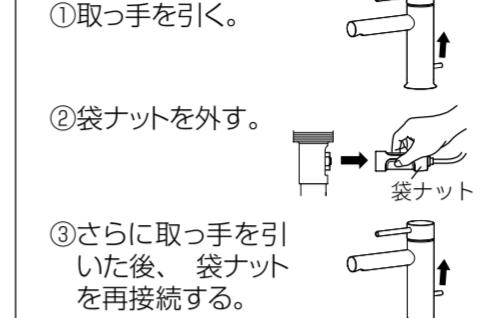
[ボトルトラップの場合]

[取付け]



[排水栓が下がらない場合(スペーサーが入らない場合)]

[排水栓が下がらない場合(水ためできない状態)]



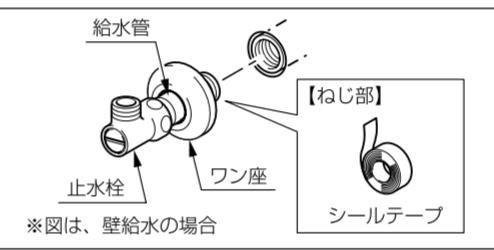
■故障かな?と思ったら

現象	処置
排水栓を下げても水たまない	●排水金具のツバ下にスponジパッキンがついていることを確認してください。
排水栓が上下に動かない、排水栓が最後まで閉まらない	(3) ポップアップ排水栓の動作確認に従って、ワイヤー先端袋ナットを取り付け直してください。

7. 給水管、止水栓の取付け

建築側給水取り出しに止水栓、給水管、ワン座を取り付けます。

※ねじ部にはシールテープを巻き付けてください。



8. 給水ホースの接続

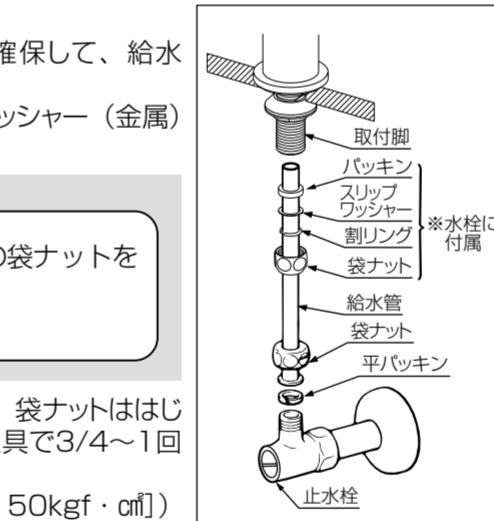
【シングルレバー混合水栓、シングルレバー混合水栓(吐水口引出式)の場合】
水栓に同梱されている施工説明書をご参照ください。

[シングルレバー単水栓の場合]

(1) 取付脚への差込しき(約20mm)を確保して、給水管(止水栓に付属)を切断します。

(2) 給水管に袋ナット、割リング、スリップフッシャー(金属)及びパッキンの順序に組み付けます。

注意
止水栓に付属の袋ナットと、水栓に付属の袋ナットを混同しないでください。
※漏水する恐れがあります。

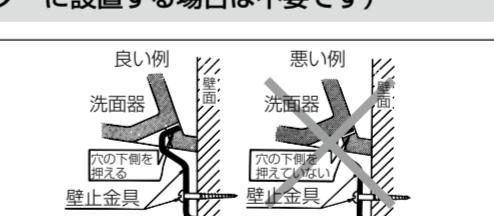


(3) 給水管を取付け脚に約20mm差し込み、袋ナットははじめに手でいはいに締め付けてから、工具で3/4~1回転増縮めしてください。

(4) 給水管の袋ナットを止水栓に固定します。

9. 壁止金具の取付け (カウンターに設置する場合は不要です)

壁止金具の湾曲している側を洗面器の取付穴に当たがい、木ねじ穴の位置を当り、案内穴をあけて木ねじで締め付けてください。この壁止金具は締め付けると、洗面器を引き下げる力が働きますので強固に取り付きます。

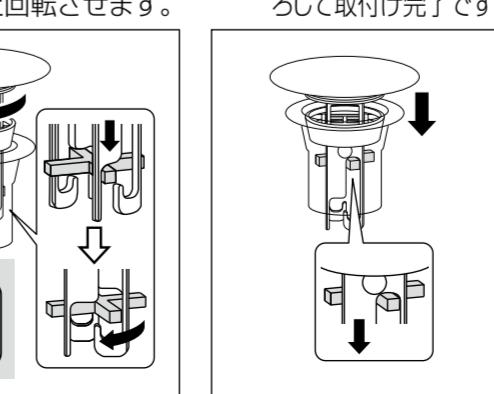
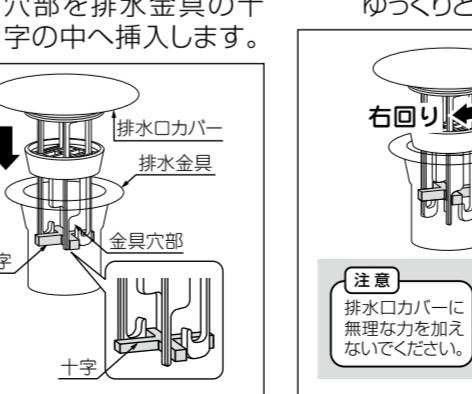


10. 排水口カバーの取付け方法

(ポップアップ式、または排水口カバーなしタイプの場合は不要です。)

(1) 排水口カバーの金具穴部を排水金具の十字の中へ挿入します。

(2) 排水口カバーを右回りにゆっくりと回転させます。



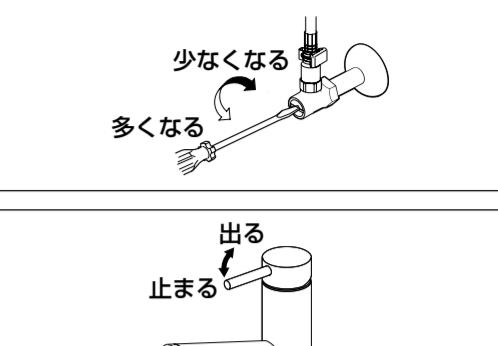
11. 通水検査、整流口の清掃、流量の調節

【シングルレバー混合水栓、シングルレバー混合水栓(吐水口引出式)の場合】
水栓に同梱されている施工説明書をご参照ください。

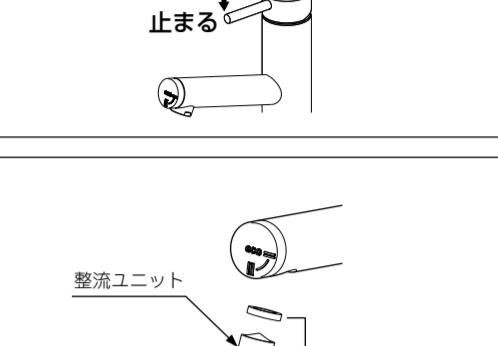
[シングルレバー単水栓の場合]

●通水検査

(1) 止水栓を全開する。



(2) レバーハンドルを全開し、通水を確認する。



●整流口の清掃

整流口を工具(スパナ(対辺17))を取り外し、整流ユニットを水で掃除する。

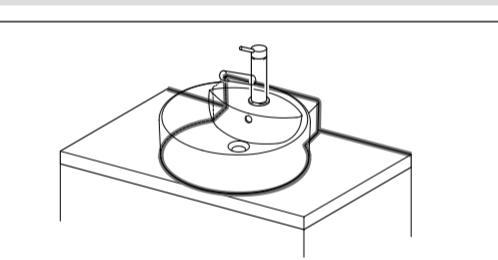
注意
必ず、整流口に布などをあててください。
※直接工具をかけると、整流口に傷をつける場合があります。

●流量の調節
吐水口先端には、節水吐出になるエコダイヤルがついています。エコダイヤルが通常吐出のときに水が約6L/min(洗面器いっぱいにするのに30秒程度)以下になるように必ず止水栓を絞ってください。



12. カウンターと陶器周囲のシリコンシール

カウンターの壁付け面と陶器とカウンターの接地面にシリコンシールします。



13. 引渡し前の確認

漏水検査を必ず行ってください。

※シングルレバー混合水栓の場合、水栓に同梱されている施工説明書をご参照ください。

[シングルレバー単水栓の場合]

●故障と点検

故障	点検内容	処置
圧力は十分か?	「●本製品の仕様と条件」	
配管途中に大きな抵抗はないか?	抵抗となる障害物を取り除く。	
止水栓は十分開いているか?	止水栓を十分開く。	
整流ユニットのゴミ詰まりはないか?	ゴミ等を水で洗い流す。	
ゴミかみはないか?	ゴミ等を水で洗い流す。	
キズはないか?	キズがあれば部品を交換する。	
ゆるみはないか?	ゆるみはないか?	
ハンドルがガタつく	ハンドル止めビスをしっかりと締める。	
本体がガタつく	締付ナットを締める。	

